

科学者委員会（第24期・第5回）議事要旨

- 1 日 時 平成30年3月30日（金）10時00分～12時30分
- 2 場 所 日本学術会議 大会議室（2階）
- 3 出席者
三成美保委員長、武田洋幸副委員長
（第一部）岡崎哲二委員、佐藤岩夫委員
（第二部）名越澄子委員、平井みどり委員
（第三部）藤井孝藏委員、藤井良一委員、渡辺芳人委員（ビデオ出席）
（その他）伊藤公雄委員、岸村顕広委員
（説明者）石川冬木会員、佐藤文彦会員
- 4 配布資料
資料1-1 前回議事要旨案
資料1-2 第2回及び第4回（メール審議）議事要旨案
資料2-1 「軍事的安全保障研究に関する声明」についてのアンケート
第一次集計結果報告
資料2-2 関連学術フォーラム実施案
資料2-3 安全保障と学術に関する検討委員会関係資料のデータCD
作成・送付について
資料3-1 [分科会報告資料] 男女共同参画分科会
資料3-2 [分科会報告資料] 学術体制分科会
資料3-3 [分科会報告資料] 学協会連携分科会
資料3-4 [分科会報告資料] 研究計画・研究資金検討分科会
資料3-5 [分科会報告資料] 学術と教育分科会
資料4-1 提言「我が国の医学・医療領域におけるゲノム編集技術のあり方」
（平成29年9月27日）
資料4-2 報告「植物における新育種技術（NPBT：New Plant Breeding
Techniques）の現状と課題」（平成26年8月26日）
資料4-3 記録「新しい植物育種技術の現状と社会受容について」
（平成29年9月6日）
資料4-4 平成30年2月7日遺伝子組換え作物分科会参考資料
資料5-1 第三部夏季部会・東北地区会議等主催公開シンポジウム開催に
ついて
資料5-2 九州・沖縄地区会議主催学術講演会の開催について

5 議題

(1) 前回議事要旨案等について

議事要旨の作成方法として、重要と思われる案件については詳細な記録を残すこととし、その具体的方法は次回までに役員が整理することとされた。

(2) 「軍事的安全保障研究に関する声明」についてのアンケート結果について 佐藤委員より、第一次集計結果報告をもとに説明がなされた。

また、関連の学術フォーラムの開催及び関係資料のデータCD作成・送付について、三成委員長から提案があり、了承された。

なお、本議案については、総会にて会員に示されるまでは公開すべきでないという視点から、非公開にて行われた。

(A委員) 対象の機関というのは、予め分けていたのか。

(佐藤委員) ①科研費の交付金額の多い上位150位までの大学・研究機関、②その他のすべての国立大学、③その他のすべての国立研究開発法人の合計183機関を対象にアンケートを実施することを、第3回の科学者委員会にて決定していただいた。その上で、回答の集計に際して、国公立大学、私立大学、その他の研究機関の3つに分けた。公立大学は数が少ないため、国公立大学としてまとめた。ご意見があればいただきたい。

(A委員) 大学共同利用機関法人は国立研究開発法人と似ている部分はあるものの、大学法人の方に似ている。数は少ないが、分けて分析してみると違う結果になるかもしれない。

(佐藤委員) 今後の分析の参考にする。参考までに、その他の研究機関からの回答の内訳は、国立研究開発法人が12、大学共同利用機関法人が6、その他が1。大学共同利用機関法人を大学に含めるかに関しては、匿名性への配慮なども考慮し、今後の検討の課題とさせていただく。

(B委員) 全体の分類はこのまま活かしていただいて、今言われたその他の研究機関について分けた資料を用意した方がいいかもしれない。

(佐藤委員) 検討させていただく。

(C委員) その他の研究機関を分けるかに関して、何の問題もないと回答している機関が1件ある。あまり細かく分けすぎると、匿名性の問題が生ずるのではないか。私は分ける必要はないと考える。

(佐藤委員) 慎重に検討する。

(三成委員長) 私から4点ほど軍事的安全保障研究についてお知らせする。資料2-2で示している通り、学術フォーラムを9月後半に開催を予定している。それまでに詳細な分析をして発表したいと考えている。開催日は後ほど調整する。資料2-3は、前期の「安全保障と学術に関する検討委員会」の詳細な資料をホームページにアップしているが、かねてよりCDにまとめて送りたいと考えていた。その送付先として、今回のアンケート送付先に加え、24期の四役及び科

学者委員会委員、23期の委員会委員、参考人、幹事会メンバー、国立国会図書館の計25か所にも送りたいというもの。アンケートは終了し、結果に影響が出ない4月以降に発送するというので承認いただきたい。アンケート結果だが、4月3日午前中の総会の副会長報告で私が紹介する。スライドで数値結果の発表をする。その後、12:00~12:30に私と佐藤委員で記者レクをする予定で進めている。資料は第一次集計結果報告を使用するが、会員や国民などに、アンケート回答画面と併せて同日正午に科学者委員会のウェブページにて公表する。また、総会午後に会長・副会長の記者会見があるが、その場では学術会議全体に関する質問を受け付けるというすみわけをする。この点も承認いただきたい。最後に、佐藤委員の資料のポイントの最後の部分、今後の作業に関して、詳細な分析のために佐藤委員を中心にワーキンググループを作成し、9月のフォーラムに向けて分析していきたい。このワーキンググループの作成にも承認いただきたい。メンバーについては、委員長に一任してもらいたい。

(佐藤委員) 2点補足をする。1点目は、ワーキンググループ作成を承認いただいたが、こちらで検討した結果については、9月までの科学者委員会にて報告し、議論の結果を反映していく。2点目は、委員長からのご提案の通り、第一次集計結果報告を4月3日に公表予定だが、念のため、それまでに委員の皆様には意見を事務局へお知らせいただきたい。その扱いは委員長と私にご一任いただきたい。

(三成委員長) 4月3日の記者レクでは、数値のみの客観的な事実の紹介にとどめ、立ち上がった部分は9月のフォーラムで説明する。

(武田副委員長) 詳細な議論はこれからになると思うが、現時点での我々の評価は言わないということではよろしいか。

(三成委員長) 評価といっても数値として表れている事実のみで、例えば、声明が一定の効果を持ったというぐらいは言う。

(佐藤委員) 現時点では結果の解釈まではしない。ここで解釈というのは、回答機関がどういう特徴があるのかなどについて、委員会の立ち上がった評価を示すこと。これはしない。数値を見て声明が一定の効果を持ったということは言える。そういう整理になる。

(3) 各分科会からの報告

(男女共同参画分科会)

第1回を2月9日(金)に開催し、役員を選出済。

第5次男女共同参画基本計画の策定に向けて、23期の提言を生かしながら活動していくこと、第二部・第三部にもジェンダー関連分科会を設けてもらうよう各部に依頼すること、等が確認された。

(学術体制分科会)

第1回を1月26日(金)に開催し、役員を選出済。

①学術の観点からの、第6期科学技術基本計画のあり方に関する提言、②学術

の観点からの、大学改革のあり方に関する提言、③学術の観点からの、総合的な科学・技術政策の確立に向けた立法提言、について、重点的に取り組む課題として確認した。また、課題に関連した関係者からのヒアリングや小分科会の設置の可能性についても確認した。

次回は4月27日（金）に開催予定。

（学協会連携分科会）

第1回を2月19日（月）に開催し、役員を選出済。

協力学術研究団体の指定要件については、合理的に見直すことが合意され、9月までの変更案の提示を目指すこととなった。また、学協会の法人化問題については、今後も検討を継続していくことが確認された。

（研究計画・研究資金検討分科会）

第2回を2月20日（火）に開催。

第24期学術の大型研究計画に関するマスタープラン（マスタープラン2020）の策定が正式に決定され、ニュースメールにて周知された。

枠組みについては前回は継承することとされ、その他の検討事項（大改訂の意味するところ・融合領域を含む研究領域の設定や評価のあり方等）について、確認が行われた。

次回は4月2日（月）に開催予定。

（学術と教育分科会）

第1回を2月23日（金）に開催し、役員を選出済。

1980年代以降の高等教育政策の展開について議論をまとめ、大学改革を教育の視点から考え直すためのプラットフォームづくりに取り組むこと、参照基準についてどのような形でフォローアップをするのか、ということも含めて検討すること、が確認された。

（4）ゲノム編集技術のあり方について

石川冬木会員から医療に関するゲノム編集技術に関する提言に関して、佐藤文彦会員から農学系・食料分野に関するゲノム編集技術に関する報告について説明があった。

（5）その他

第三部夏季部会・東北地区会議等主催公開シンポジウム開催及び九州・沖縄地区会議主催学術講演会の開催について、承認された。

以上